

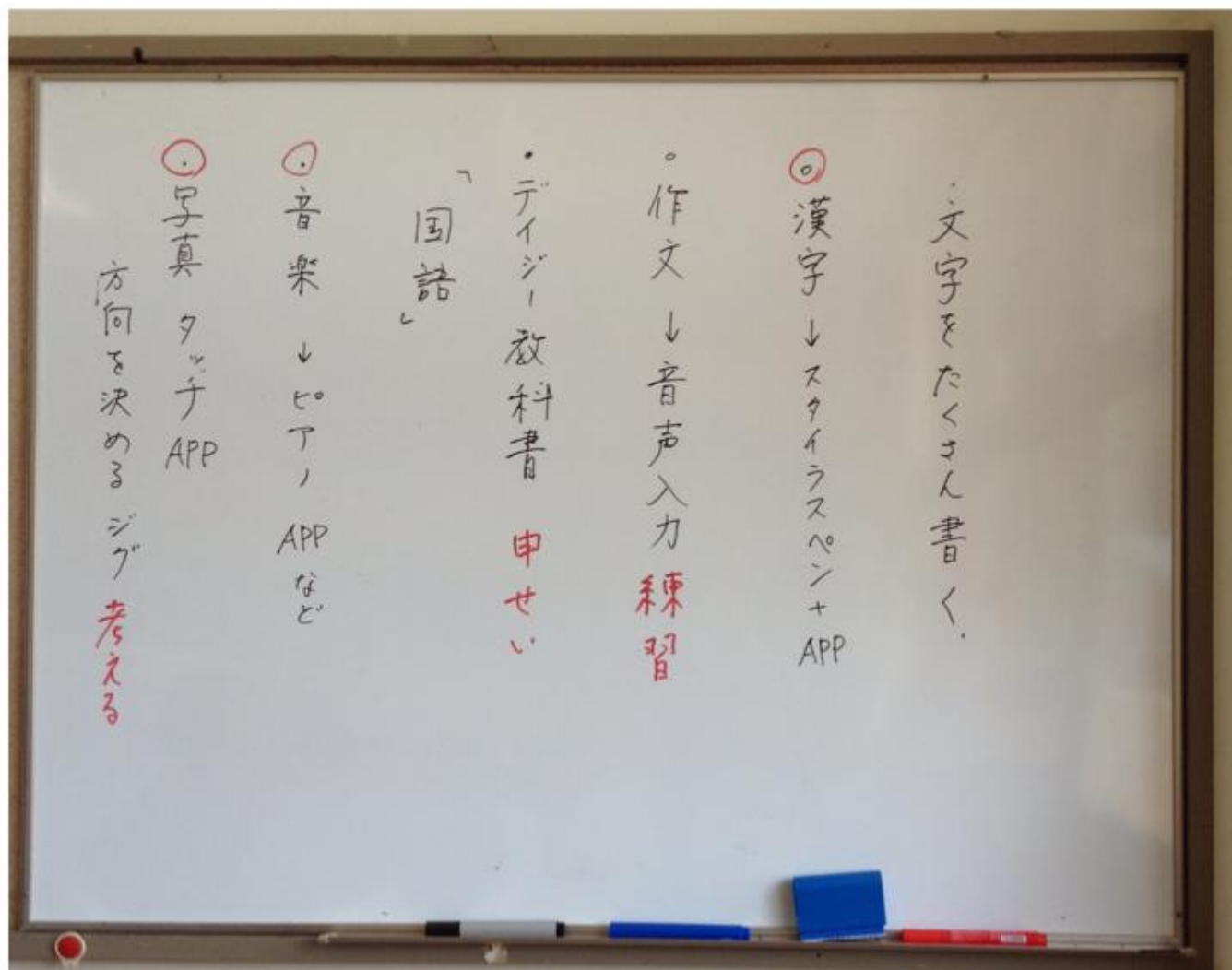
自分で できる喜びを!!

栃木県立足利特別支援学校

林 真樹

- ・小学6年生で準ずる教育を受けている。
- ・地域の小学校の病弱特別支援学級から本校（病弱の特別支援学校）に転校してきた。
- ・学習意欲が高く、学年相応の学習を望んでいるが、身体のケア（1日5時間程度）があり、時間的、体力的な制約がある。
- ・手足の指は握りこんだ形で皮膚が癒着していて、握ったような状態になっている。

# 自立活動の時間に、児童の困り感を確認



# 当初のねらい

iPadをどんどん活用して授業を行っていこう。

でした。しかし、

自分で計画したり、工夫したりする経験が不足していて、このままiPadを導入したら、言われたままに利用はできても、将来一人で使いこなそうと思えるのかな？



まずは、「自分でできた!!」という体験を通して  
自己有用感を高める必要があるのでは？

# 新たなねらいと指導内容

(1) やりたいこと、好きなこと、「こうなりたい」  
自分のビジョンをもつことができる。



各行事や学習で、活動できる方法を教師とともに  
検討「自分でできた」という成功経験を積み重ね、  
**自己有用感を高める**

## (2) 課題解決のスキルを身につける。



身近処理や学習において、

① 自助具の活用

② iPadの活用

を教師とともに検討し、どのように工夫したら  
できるようになるかを考え、実行し、  
課題解決のスキルを身に付ける。

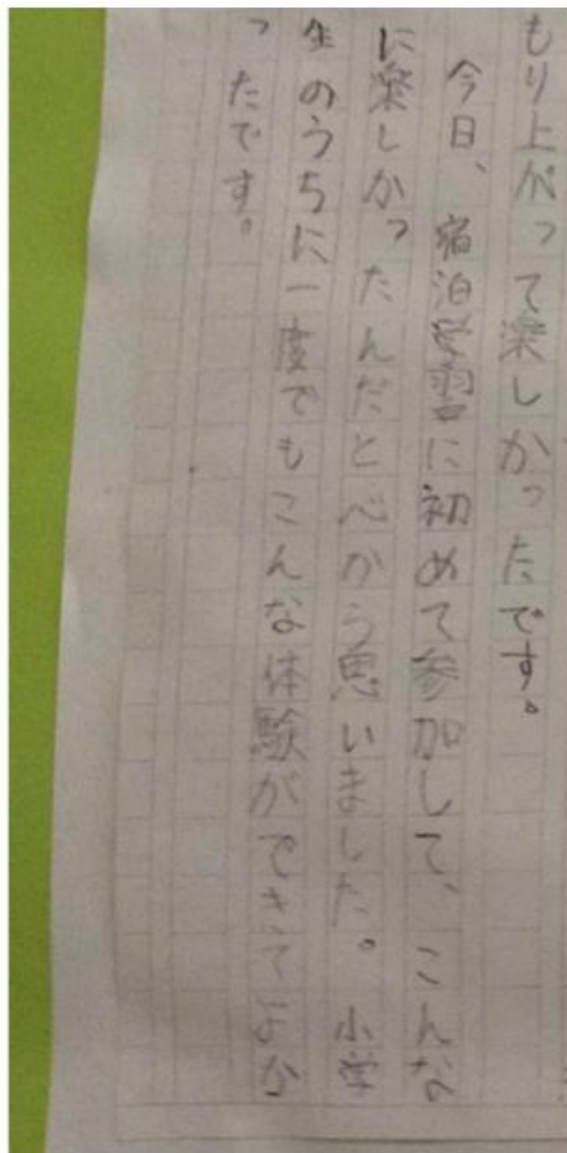
# (1) 自己有用感を高めるために

## <行事>

- ①運動会に参加
- ②遠足に参加
- ③校内のミニコンサートへの参加
- ④宿泊学習に参加



# 宿泊学習の感想



友達と同じことが  
できて嬉しい!!



教師が考えているよりも、  
「友達と同じことをしたい」  
と思っているのね。





## (2) ① 自助具を使って

- A 手首ベルトにさしこみ活用できる  
アタッチメント（保護者に作成依頼）
  
- B PTによる靴の中敷の作成
  - ➡立位が安定
  - ➡トイレが自立できた
  
- C 車椅子で掃除  
（モップを車椅子につけて、足こぎで）

## (2) ②iPadを使って

- ・ 教師が設定した活動の中から、自分がやりたい方法を選んだり、自分で課題解決のために検索や設定を行う。

(週1回 自立活動の時間に行った。)

## iPadの基本的な使用方法確認

アプリが煩雑になっていたもので、種類ごとに分けて整理し、自分が一番使うアプリを使いやすい位置に設定した。

# 文字の入力方法について検討



音声入力が身体への負担も少なく  
有効かもしれないよ

**思ったように声が正しく認識されない**



スタイラスペンを使っでの  
書字はどうかな？

**鉛筆や手書きの方が速いかも。  
入力はフリック入力がいいな**



# 写真の撮り方を検討

児童が写真を撮るためには、  
撮りたいものにiPadを  
向けるために両手を使っている。



音声で写真を撮れるアプリ  
**声シャッター**を利用



# ノートのまとめ方を検討



デジタル教科書をつかってみたら？

教科書はそのままの方が  
使いやすい。



板書を写真で整理したり、写真に書き  
込んだりする学習方法は？教科ごとに  
ノートを整理できるよ。

Evernoteを使ってみます。





## 対象児の事後の変化

- ・ 学校で他の児童と同じことを工夫して参加できるようになったことで、5月に訴えていた不安も感じる事がなくなって、**学校生活を楽しむ様子**が見られた。
- ・ 自分でフリック入力が有効であったEvernoteや声シャッターを、自分のiPadにダウンロードしたり、Evernoteの算数のノートに授業の写真を足したりする様子が見られた。



# 今後の見通し

- ①工夫することのできることもかもしれないという前向きな気持ちを大切にする。



今後の生活において自分で工夫する力を身に付けていけるようにする。

- ②1学期の状態を考えると、体調面からの欠席、欠課が多くなることが予想される。



進路を考えると、学習において更なるスピードアップが必要となる。

学年の学習を終了できるスピードを意識し、ノート  
の活用のためiPadを授業に徐々に導入していく。



2学期の居住地校交流で  
活かせるようにする

iPadの導入で同学年の友達と一緒にのペースでも自分で  
授業についていけることを実感させて、自己有用感を  
高めていく。



たくさん笑って  
たくさんの夢を!!

進路選択の幅を広げ、より豊かな生活へ